

THE Y'S MEN'S CLUB OF KUMAMOTO

2015
ひがし
チャーター 2004.8.24 No.136

C/O KUMAMOTO YMCA NAGAMINE FAMILY
3-1-107 NAGAMINE MINAMI KUMAMOTO 861-8039
TEL 096-385-0676 FAX 096-385-0649

TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

第1例会 第1月曜 熊本テルサ(19:00~21:30)
第2例会 第3土曜 ながみねYMCA(17:00~19:00)

国際会長 主題 : 信念のあるミッション スローガン: 恵みを数えよう Wichian Boonmapajorn (タイ)
アジア会長 主題 : 愛をもって奉仕をしよう スローガン: まず自分から始めよう Edward K. W. Ong (シンガポール)
西日本区理事 主題 : 「あなたならできる! きっとできる」一生生きる しなやかに さわやかにー 遠藤 通寛 (大阪泉北)
九州部部長 主題 : 「九州から輝くワイズダム」 五嶋 義行 (阿蘇)

熊本ひがしクラブ
第12代会長 田上 裕章 会長主題: 絆 地域との絆 会員間の絆



8月活動	今月の聖句
Youth Activities	
(平山美保)	<p>主は羊飼い、わたしには何も欠けることがない。/主はわたしを青草の原に休ませ/憩いの水のほとりに伴い/魂を生き返らせてください。</p> <p>詩編23編 1-3節 ダビデ王が作った賛歌で、祈りのことばとして有名な詩編23編は、映画などで多く取り上げられています。</p> <p>「青草の原」とか、「憩いの水のほとり」ときくと、日本では豊かな自然をイメージしますが、荒れたユダの荒野での話です(P8下)の写真。羊は目も弱く、他の羊に顔をつけていないと群れから外れてしまい、転んでも自らは起きあがられない。聖書では、人は羊にたとえられることが多いのです。</p> <p>人生、時に荒れ野でウロウロ迷っていると思うこともあります。が、しかし、羊飼いである主が共にいて下さるので、何も欠けることがないとダビデは感謝と共に祈っています。</p> <p>更にダビデの信仰に驚くのは、6節に「命のある限り/恵みと慈しみはいつもわたしを追う。」と続いていることです。主の恵みは一度や二度の数えられることではなく、わたしの命のある限りだと、ダビデは確信しているのです。わたしの人生、どのような時も、恵みと慈しみが必要あることを、心に刻んで信じます。(平山美保)</p>

7月例会出席記録	在籍会員数 28名	第1例会 21名	第2例会 10名	メイカップ 1名	
	例会出席率 78.5%	第1例会総数 36名	ネット、コメント 13名	ゲスト・ビジター 7名	

会長通信



地道な歩みを

会長 田上 裕章

おかげさまで、色々とバタバタでしたがキックオフ例会を無事終えることが出来ました。ご協力いただき、ご出席いただきました皆様のおかげと感謝しております。自分は何気なく出席しておりました例会ですが、いざ開催するとなるといろんなことが必要になってくるものだなあと遅ればせながら気づきました。

どうにかキックオフは終えましたが、自分に出来るだろうか？？？いきなり、これから一年間、先行き不安にもなりましたが。

それでも、諸先輩方には色々なことを教えて頂きましたし、大変でしょうと声もかけて頂きました。声をかけて頂くだけでも気分が楽になることに気づきました。両副会長にも大変助けて頂きました。ありがとうございました。

会長になって、やがて1ヶ月という状態ですが、会長というのは非常にやることが多いと感じます。また、何かあつたら言ってください！ 手伝いますと仰って頂く方が多いのですが、まだ就任して間もないこともあり、何をすればいいのか、何を人に振ればいいのかさえ見えてこない感があります。皆様のご厚意を、私が生かし切れていないなあと思います。

各委員などの役割分担をはっきりする事、そして各会員に大小問わず、何らかの形で役割を分担していくことで、クラブへの帰属意識を新たにし、クラブでの居場所を見つけて頂く事が出来るのではないか。

今期の私の課題です。地道にやっていこうと思います。

考 動

地域に在るY M C A

7月7日、ながみねF YMCAの中村館長に同行して、熊本県立大学の明石教授とお会いしてまいりました。

明石教授には毎年3月に、ながみねF YMCAにて開催している防災フェアなどでご協力を頂いております。

先日お会いした際に、今後も何か防災について協力していきたいとのお話がありましたので、今後の方針をお伺いしてきました。ながみねF YMCAの9月の阿蘇キャンプと同時に、県立大学の学生さんが阿蘇でワークショップやフィールドワークを行い、地元の方々や水害で被災された方々との交流を持つ予定が組まれており、そこでY M C Aの子どもたちと学生で何ができるか？ というお話がありました。

ひがしクラブとして関わっていくかどうかは、まだこれからの話ですが、今後も年に2回程度防災について何らかの共同でイベントを行って、3月の防災フェアにつなげていけば、年間の流れが出来ていくのではないかとのご提案でした。ながみねF YMCAの防災の取り組みには、非常に期待されているとのことでした。

ながみねF YMCAに期待頂き、地域の大学に協力して頂く事は、Y M C Aの地域浸透にもつながりますし、お互にとつて素晴らしいことだと思います。今後もひがしクラブとしては、防災を一つのイベントの柱として、協力していかなければと考えております。

(田上裕章)



熊本県立大学・明石教授(中央)
写真はどちらも3月の防災フェア



防災フェアに参加した県立大学の学生たち

2015-2016 西日本区理事方針 事業別方針

主題 「あなたならできる！きっとできる」
“You can do it ! Yes, you can!”

—生きる しなやかに さわやかに—
— Live flexibly and refreshingly —

第19代西日本区理事
遠藤 通寛



—理事方針—

ワイズ読本に100人に聞いたワイズ入会の動機が掲載されています。それぞれ入会の動機は大きく違います。皆さんの入会の動機も様々なエピソードがあつたことと存じます。

あいまいな動機で入会した私ですが、クラブ例会やクラブの先輩の活動を知ることと、クラブ内外の人々との交流で自分自身が大きく影響を受け、その結果、自己研鑽に繋がることを知りました。クラブは自己研鑽の場、自分自身を育てることは勿論ですが、メンバーの皆さん、是非入会歴の浅い方々をご指導いただき、豊かで良質なメンバーを育て、未来を見据えた素晴らしいクラブ運営をお願いいたします。

事業制度改革2年目を迎ますが、変わらぬワイズの理想を求め、下記のように事業方針、目標を定めその目標に向かって事業主任、各部長の皆様と職責を果たしていく所存です。

—事業別方針—

■ YMCAサービス・ユース事業 事業主任・河合久美子（京都ウエスト）

- * YMCAサービス所属するYMCAとの情報交換を密にして、求められている支援を的確に把握し、積極的にサポートする。
- * 若者（ユース）のYMCA、ワイズメンズクラブへの理解を深め、将来にわたる関わりを持つための仕組みを作り、取組みを推進する。
- * 各部におけるYY（Y）フォーラムの開催。
- * ユースコンボケーションにYMCA、ワイズメンズクラブを理解しようとする多くのユースを送り出す。

■ 地域奉仕・環境事業 事業主任・川上孝司（京都パレス）

- * クラブ・部で実践する地域奉仕・環境事業活動に係る支援金要請に対し迅速に対応する。環境事業は身の回りおよび地球規模で発生している環境問題を認識し、私たちにできることを実行するようアピールする。
- * 国際協会のロールバックマラリア事業の継続を受け、再度皆様に理解と支援をアピールする。
- * 東日本大震災の復興状況を把握しつつ、現状に沿った支援を継続する。
- * C S資金・F F 献金・T O F 資金についての理解を深めていただく。

■ EMC事業 事業主任・小野勅紘（西宮）

- * ワイズメンズクラブの目的・モットーを基本に、各部において「EMCシンポジウムや各種研修会」を開催しEMC事業の普及を図っていただく。
- * ワイズ100周年に向け計画的な会員増強を図る。
- * 国際協会の方向に沿い、ワイズ100周年への歩みとして、EMC事業の長期計画を事業委員会、岩本次期理事とともに模索し、可能な限り策定していく。

■ 国際・交流事業 事業主任・中井信一（奈良）

- * D B C・I B C締結の推進
- * 国内（東西）・国外の交流推進
- * B F制度は国際役員、B F代表の資金、献金の目的理解と献金推進
- * Y E E P・S T E P制度を通じて若者の成長支援
- * E Fの国際基金への理解と推進

■ メネット事業 事業主任・遠藤典子（大阪泉北）

- * 国際・交流事業との協働によるメネット事業の展開
- * 国内プロジェクト東日本区北東部仙台3クラブと、もりおかクラブの「被災地支援活動」及び「被災地訪問交流会プログラム」への支援要請
- * メンから、メネットへ例会・各種事業への積極的な参加呼びかけを推進する。

8月強調月間 Youth Activities

若者（ユース）に、YMCAやワイズメンズクラブについてもっと知ってもらい、互いに共感や連携のできるプログラムを推進しましょう。

河合久美子 Yサ・ユース事業主任
(京都ウエストクラブ)

My Story

わたしの物語

File. 1

人との繋がりを大切に

やすみ ひろし
矢住 博士 Y's

西鉄旅行に復帰して約1年半になります。以前、佐賀で4年程過ごしておりましたが、地元に帰つて人脈を活かし、またご紹介を頂いて、これまで以上に仕事の幅も広がり、旅行業に携わって一番充実した期間を過ごしてきました。

仕事の内容としては、営業活動はもちろん国内外の添乗も行っております。多い時は、ひと月に10日間以上、添乗に出ることもあり、大変な時もありますが、旅先での出会いや、おいしい食事を頂くことが出来るのも旅行業の楽しみの一つであります。

現在、西鉄旅行株熊本支店ではプロスポーツチームである、サッカー“ロアッソ熊本”やバスケットボール“熊本ヴォルターズ”的選手の遠征の手配も行っております。また会社全体では、“福岡ソフトバンクホークス”や“サッカー日本代表”的手配もお取り扱いしております。このような仕事も、人脈や繋がりがあってからこそ携わることの出来る仕事であります。

ワイズメンズクラブの活動もその一つだと思います。今後も人脈や繋がりを大切にして活動の幅を広げていきたいと思います。

次回は、M.Kワイズにお願いしています

キックオフ例会(7月)報告



先ずは田上ワイズ、第12代会長御就任おめでとうございます。

今回のキックオフ例会はメネットの皆様の協力による七夕の雅びな飾り付けの中、田上会長の主題「絆」と共に、力強くスタートを迎えました。活動方針、活動計画も会長自らわかりやすくパワーポイントでご説明頂きました。

さて、7月の会長通信の中でも述べておられますが、田上会長は阪神大震災を直接経験されており、防災関係の催しを一つの柱にしたいと考えておられます。我々ひがしクラブも、スピリットクラブ、ながみねファミリーYMCA、自治会、日本赤十字、NTT、所轄警察署、消防署、県立大学、区役所等の皆様と共に防災フェア、防災探検に取り組んでまいりましたが、実際の経験者の目線でご指導いただければ何より心強いかと思っております。

私たち会員も田上会長の元、初心で新たなスタートを切りたいと思います。

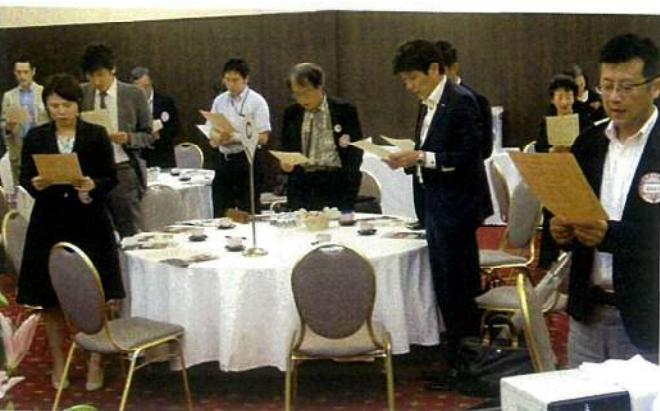
各ワイズメン一人一人の絆を深めて行き、次世代の若手メンバーへのワイズダムの引継ぎも、しっかり行いたいと思います。そして何より、田上会長にとって記憶に残る素晴らしい一年となりますよう、ご協力させていただきます。

(池田安隆)

先ずは田上ワイズ、第12代会長御就任おめでとうございます。

今回のキックオフ例会はメネットの皆様の協力による七夕の雅びな飾り付けの中、田上会長の主題「絆」と共に、力強くスタートを迎えました。活動方針、活動計画も会長自らわかりやすくパワーポイントでご説明頂きました。

さて、7月の会長通信の中でも述べておられますが、田上会長は阪神大震災を直接経験されており、防災関係の催しを一つの柱にしたいと考えておられます。我々ひがしクラブも、スピリットクラブ、ながみねファミリーYMCA、自治会、日本赤十字、NTT、所轄警察署、消防署、県立大学、区役所等の皆様と共に防災フェア、防災探検に取り組んでまいりましたが、実際の経験者の目線でご指導いただければ何より心強いかと思っております。





メネットコーナー

つながり続けるメネットの輪

今期はひがしクラブの大澤メネットが九州部メネット事業主査を務めておられます。9月の熊本地区メネット交流例会や10月に予定されている九州部部会でのメネットアワーなど、ひがしクラブのメネットの活躍が期待されている1年です。

九州部部長が阿蘇クラブのメンバーであることから、阿蘇クラブのメネットさんたちとの交流が少しづつ始まっています。5月には阿蘇キャンプで母の日を覚えての例会を行い、阿蘇クラブから3名のメネットと、にしクラブの亀浦メネット・岩本メネットも参加されての、初めてながら実のある集まりをもつことができました（ブリテン6月号で大澤メネットが報告）。8月23日にも交流会を予定しています。これらのためにご準備してくださっている方々に感謝しています。

ひがしクラブがチャーターした12年前、わたしには新しく始まるワイズメンズクラブが何なのか、さっぱり分かりませんでした。おぼつかない足取りで始まったメネットとしての歩みでしたが、例会に参加して、働きを共に担っている先輩メネットの姿に教えられ、素のままでいられる交わりに支えられてきました。

田上会長がキックオフ例会で、「クラブに入会して良かったと早く気付いてもらいたい」と仰っていました。どの段階でそう思えるようになるかは、一人ひとり違うのでしょう。自分の意志を超えて迎えられていることに、わたしもいつの間にか気付いていたと思います。

それぞれの方が、役目を引き受けたことから始まったメネットどうしの交流ですが、きっかけは神さまからのプレゼントなのかもしれません。いずれにせよ、そこから新たな出会いがあり、今までと少し違う世界に踏み出せるることは、幸せなことなのだと実感しています。新しい出会いを感謝しながら、メネットのつながり、温かい輪を広めていければと願います。

（平山美保）



5月24日、阿蘇クラブとの交流

第26回アジア地域大会 in 京都

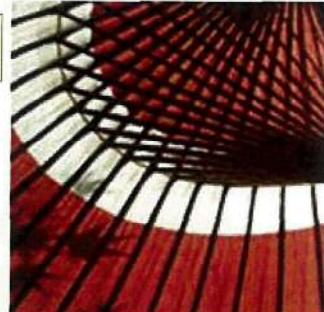


7月31日（金）～8月2日（日）、京都でワイズメンズクラブ・アジア大会が開催されました。写真は、中堀清哲ワイズ（鹿児島クラブ）にお願いしました。

開会式直前ロビー 菅ワイズが左端に

「未来を始めよう、今すぐに」

初日 直前アジア地域会長主催晩餐会



開会式



「YMCA・ワイズの源流」の学び！ (25)

浮田和民 (うきた・かずたみ)

1859 (安政6) 年12月28日～1946年 (昭和21) 年10月28日

法学博士、政治学者、早稲田大学高等師範部長。熊本バンドの一人。
熊本藩士の子として熊本市 (現熊本市七軒町) に栗田太直之の三男として生まれる。

1871 (明治4) 年9月熊本洋学校に入学。76年8月同校廃校により9月同志社英学校に転学し、神学、哲学を中心に学び79年6月卒業。大阪天満教会会頭となつたほか、大阪、神戸、東京などで布教活動に従事。86年10月同志社政法学校講師 (のち教授) となり、西洋史、政治学などを担当。

他方「国民之友」、「六合雑誌」などで評論を展開した。92年夏から94年末までイエール大学に留学。1897 (明治30) 年、アメリカンボードと同志社の分離独立問題活動や新神学をめぐる学内紛争により同年5月同志社を辞職。東京専門学校 (現早稲田大学) に移籍した。

早稲田では、山田一郎、高田早苗、安部磯雄らと共に早稲田政治学の基礎を形成、発展に貢献。傍ら総合雑誌「太陽」の編集主幹として活躍。当時の若者に大きな影響を与える。「内に立憲主義、外に帝国主義」という「倫理的帝国主義」を標榜しており、のちの民本主義につながる理論を最初に提唱したのは浮田であるとされ、大正デモクラシーを鼓舞。吉野作造、大山郁夫らに思想的影響を与えた。大隈重信のブレーンでもあった浮田和民を評して、坪内逍遙は「早稲田の至宝」と呼んだ。

1920年3月から約1年、第1次世界大戦後のアメリカ、ヨーロッパを視察旅行。1941 (昭和16) 年5月、早稲田大学教授を辞職。

著書に「西洋上古史」、「政治原論」、「倫理的帝国主義」、「日米非戦論」等多数。

1946年 (昭和21) 年10月28日、東京都豊島区の自宅で死去。享年85才。



(文・企画 歌野清三)

九州部評議会・懇親会



7月5日 (月)、九州部第1回評議会が中央YMCAで開催され、今期の活動方針などが承認されました。

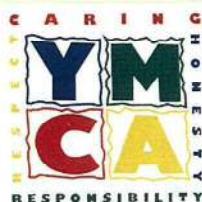
EMCシンポジウムでは、西日本区・小野勅絃主任が出席され、「クラブの特性に合う増員計画を図ることと、ドロップ阻止」への工夫を力説されました。

場所を日航ホテルに移しての懇親会では、4月に開催したオールYMCAデイの益金を4団体に贈呈しました (熊本YMCA、スペシャルオリンピックス、益城町



社協、きょうさ連)。

クラブ紹介で、福岡中央クラブの新しいファンド・モンゴル岩塩のアピールなどもありました (売上の10%を砂漠の緑化に活用)。平山



YMCA通信

連絡主事 中村賢次郎

【ながみね祭実行員会】

9月19日（土）、第28回ながみね祭が行われます。第1回のボランティア実行委員会を行い、テーマが決定しました。『ファミリーから世界がつながる 届け！平和の輪、みんなのWA』ながみね祭から世界へ、平和の思いを届けたいと思います。

毎年ひがしワイズメンズクラブの出店も大人気です。今年もよろしくお願ひします。ただいまバザー品の寄贈をお願いしています。



【YMCAよろず生活相談会】

地域の方に向けて、専門家レイパーソンによる生活相談会を開催します。

今回は、昔ワイズによる「病院で聞けない健康の悩み」と題して個別相談会を行いました。

今後も家庭の保険、介護の悩み、子育て相談、住まいの相談など、様々な分野で、地域の方々のニーズに応えられるよう計画中です。

【東ティモール情報】

元YMCAスタッフの徳永祥太さん（タイガーリーダー）がJICA青年海外協力隊の一員として、東ティモールに2年間派遣されます。3年に渡り現地YMCAのサッカープログラム支援を行ってきた経験を活かし、活躍してくれることだと思います。また現地との連絡やYMCA活動の協力者としても心強いです。



徳永祥太さん(左)

良く生きる

戦後70年に想う

歌野 清三

8月6日、ヒロシマ。8月9日、ナガサキ。8月15日、終戦。今年被爆、戦争終結から70年という節目の年を迎えてます。この大きな転換期の年に多くの人々が語り、各地で平和を願う沢山の行事が企画されています。

1981年、広島の地でヨハネ・パウロ2世教皇は、「過去を振り返ることは、将来に対する責任を担うことである。戦争は人間の仕業です。」と説き、全世界に平和を呼びかけられました。これに応え、日本カトリック教会は冒頭の8.6からの10日間をその翌年から「平和旬間」と定めました。平和のために特別に祈り、考え、行動することを訴え続けてきました。

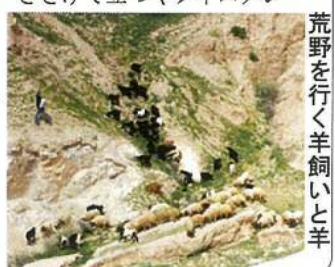
現在、集団的自衛権行使の国会議論など政治の動きが大きな課題となっていますが、ユネスコ憲章に「戦争は人の心の中に生まれるのであるから心の中に平和の砦を築かなければならぬ」とあります。

1971年に「戦争を知らない子供たち」という歌が大ヒットしたそうですが、今はもう、戦争を知らない大人たちが圧倒的になっているのではないでしょうか。戦争体験者の高齢化で年々減っていきます。戦争の体験がない若者への世代交代が加速していきます。

戦争とはいかななる時代だったのか。不戦の歴史を未来へつないでいくために平和と戦争の原点である自分の中に「愛を育むこと」、キリストが教えられた「平和への想い」がしっかりと根付くように祈り続けていくことが必要ではないでしょうか。

- 1 いざ立て 心あつくし 手を挙げ 誓い新たに
われらのモットー守る ふさわしその名ワイズメン
- 2 歌えば 心ひとつに この身を捧げつくさん
遠きも近きもみな ともがき ひろがりゆきて
栄えとほまれ豊か ささげて立つやワイズメン
まことは胸にあふれん

なごりはつきねど
つどいは果てぬ
きょうひとひのさち
しづかに思う



9月以降の予定

- 8月8日（土）ファミリーピアパーティ一例会
18:30~20:00 嘉島サントリー熊本工場
- 8月20日（木）熊本YMCA委員研修会
19:00 中央YMCA
- 8月22日（土）ひがしクラブ第二例会
17:00 ながみねファミリーYMCA
- 8月23日（日）阿蘇のメネット交流
12:00 創作料理いちの川 阿蘇市永草堤1983-1
- 9月7日（月）熊本地区メネット交流例会
19:00 熊本テルサ（ホストひがしクラブ）
- 9月19日（土）ながみね祭（9月例会に振替）
メンバーは協力をお願いします
①缶ビール（350ml）1ケース（発泡酒でOK）
②バザーへの献品

第二例会

7月17日（土）17:00~19:00 ながみねF
出席：田上、岩本、歌野、馬場、平山（記録）、
吉本、宮崎、加藤、横田、中村
メット：田上、岩本、大澤、加藤、菅、横田、平山
堀原

ながみね祭（9/19 土に開催）

- ・実行委員会を開催し、主題を決定した（p7参照）
- ・ひがしクラブの食バザーについては、横田ワイズが仕入先の方と検討し、後日提案する。
- ・東ティモール支援を祭の目玉にする。そのための工夫を検討していく。
- ・益金目標額は70万円。

8月例会の件 嘉島サントリー

- ・会場の下見をする（田上会長）。例会内容については下見をした上で検討する。

9月メネット交流例会の件 ひがしクラブがホスト

9月7日（月）19:00~21:00 熊本テルサ
卓話者：立野泰博牧師（ジェーンズクラブ）

（東日本大震災の復旧復興に携わっている）

*クラブ運営の在り方、進め方についても話し合った。

ハッピーバースディ&アニバーサリ

8月バースディ

- | | |
|----------------|-----------|
| 16日 門永 充弘 | 24日 神谷 公省 |
| 25日 池田 彰子（メット） | |

8月アニバーサリ

- 17日 片山隆&袋田知花